

2011年11月2日

内閣総理大臣 野田 佳彦 様
経済産業大臣 枝野 幸男 様

新日本婦人の会
会長 高田 公子

玄海原発4号機の再稼働強行につよく抗議します

1日午後11時、九州電力が玄海原発4号機の再稼働を強行したことに驚き、強く抗議します。

福島第1原発事故による放射能被害への不安が日々ひろがり、「やらせ問題」や第三者委員会報告無視、社長の居座りなど九電と原発行政への不信が高まるさなかの再稼働は、市民感覚からはとうてい考えられない暴挙です。

経済産業省が、拙速な再稼働にゴーサインを出して後押ししたことは重大です。同機は12月初旬には定期検査に入る予定で、10月4日の自動停止後は再稼働せずに検査入りすると見られていました。それをくつがえしたのが経済産業省原子力安全・保安院の「再発防止策はおおむね妥当」との判断だったとされます。規制機関の役割を果たしていないどころか、推進の役割を果たしていることを改めて示すものです。「地元首長の理解が得られた」とするの、住民不在、九州電力との癒着の深さを際立たせています。周辺自治体からは「性急すぎる」との意見も寄せられていたのをおしきっての実施でした。「やらせ」問題でも、九電と経済産業省がなんら反省していないことを浮き彫りにしました。

今回の強引な再稼働が、原発行政への不信をさらに決定的なものにし、深刻にさせずにはおかないでしょう。経済産業省による再稼働強行に改めてつよく抗議するとともに、「安全神話」をつくり、ひろげて原発を推進し、多くの国民のいのちとくらしをおびやかしている責任を深く受け止め、原発推進・再稼働の政策を転換するよう、要求します。